

種名	既存情報把握状況※1							情報量の評価	狩猟対象としての性質		外来鳥獣としての性質	追加的モニタリングの必要性(優先度)	種名
	捕獲数のオーダー	分布状況	被害状況	絶滅のおそれ※2		個体数動向	特定計画(作成県数)		資源性	害性			
				国RL	県RL掲載数								
1 カワウ	万	○	△			○	2 (福島・滋賀)	○	○		低	カワウ	
2 ゴイサギ	千	○	×			×		△	○		低	ゴイサギ	
3 マガモ	十万	○	×			○		○	○		低	マガモ	
4 カルガモ	十万	○	△			○		○	○		低	カルガモ	
5 コガモ	万	○	×			○		○	○		低	コガモ	
6 ヨシガモ	千	○	—		3	○		○	○		低	ヨシガモ	
7 ヒドリガモ	千	○	×			○		○	○		低	ヒドリガモ	
8 オナガガモ	万	○	—		1	○		○	○		低	オナガガモ	
9 ハシビロガモ	千	○	—		1	○		○	○		低	ハシビロガモ	
10 ホシハジロ	千	○	—			○		○	○		低	ホシハジロ	
11 キンクロハジロ	千	○	—			○		○	○		低	キンクロハジロ	
12 スズガモ	百~千	○	—			○		○	○		低	スズガモ	
13 クロガモ	百	○	—		2	○		○	○		低	クロガモ	
14 エゾライチョウ	百	○	—	DD		△		○	○		低	エゾライチョウ	
15 ウズラ	(捕獲禁止)	×	—	VU	19	×		×	○		高	ウズラ	
16 ヤマドリ(コシジロヤマドリを除く)	万	○	—	アカヤマドリの みNT	5	△		△	○		中	ヤマドリ(コシジロヤマドリを除く)	
17 キジ	十万	○	○		1	△		△	○	○	低	キジ	
18 コジュケイ	万	○	—			×		△	○	外来鳥獣	低	コジュケイ	
19 バン	千	○	—		2	×		△	○		中	バン	
20 ヤマシギ(アマミヤマシギ除く)	千	×	—		5	×		×	○		高	ヤマシギ(アマミヤマシギ除く)	
21 タシギ	千	×	—		2	×		×	○		中	タシギ	
22 キジバト	十万	○	△			×		△	○	○	低	キジバト	
23 ヒヨドリ	十万	○	○			×		△	○	○	低	ヒヨドリ	
24 ニュウナイスズメ	千	△	×		2	×		△	○	○	低	ニュウナイスズメ	
25 スズメ	十万	○	○			×		△	○	○	低	スズメ	
26 ムクドリ	万	○	○			×		△	○	○	低	ムクドリ	
27 ミヤマガラス	千	△	△			×		×	△?	○	低	ミヤマガラス	
28 ハシボソガラス	万	○	△			×		△	○	○	低	ハシボソガラス	
29 ハシブトガラス	十万	○	△		1	×		△	○	○	低	ハシブトガラス	

※1 「分布状況」「被害状況」「個体数の動向」については、科学的・継続的な把握のために必要な情報量が十分あるかを整理(○:十分、△:ほぼ十分、×:不十分)
 「被害状況」について、農林水産業や生態系等への被害が現状において明確に確認されていないものについては「—」とした。

※2 国RL…「VU」:絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)、「NT」:準絶滅危惧(生存基盤が脆弱な種)、「DD」:情報不足(評価情報が不足している種)。
 県RL掲載数…環境省第4次レッドリストのカテゴリーで絶滅危惧Ⅱ類以上に相当するものがあれば、その掲載数を記載

狩猟鳥獣の生息状況等に係る情報収集状況(獣類)

参考資料 2-1

種名	既存情報把握状況 ※1							情報量の評価	狩猟対象としての性質		外来鳥獣としての性質	追加的モニタリングの必要性(優先度)	種名
	捕獲数のオーダー	分布状況	被害状況	絶滅のおそれ※2		個体数動向	特定計画(作成県数)		資源性	害性			
				国RL	県RL掲載数								
1 タヌキ	万	△	○					△	○	○	国内外来(屋久島など島しょ部)	低	タヌキ
2 キツネ	千	×	×		4			×	△	○		中	キツネ
3 ノイヌ	百	△	×					×		○	国内外来 ※本来自然分布しない	低	ノイヌ
4 ノネコ	十～百	×	×					×		○	国内外来 ※本来自然分布しない	低	ノネコ
5 テン(ツシマテンを除く)	百	×	—	エゾクロテンのみNT	1			×	○			中	テン(ツシマテンを除く)
6 イタチ(オスに限る)	百	×	×		1			×	△	○		中	イタチ(オスに限る)
7 チョウセンイタチ(オスに限る)	十	×	×	NT				×	△	○	国内外来(対馬以外)	低	チョウセンイタチ(オスに限る)
8 ミンク	十	×	×					×		○	特定外来生物	低	ミンク
9 アナグマ	千	×	×		1			×	△	○		中	アナグマ
10 アライグマ	千	○	○					△		○	特定外来生物	低	アライグマ
11 ヒグマ	百	○	○	LP		○		○	○	○		—	ヒグマ
12 ツキノワグマ	千	○	○	LP	21	○	21	○	○	○		—	ツキノワグマ
13 ハクビシン	千	△	○					△		○	外来鳥獣の可能性	低	ハクビシン
14 イノシシ	十万	○	○	LP	5	○	36	○	○	○		—	イノシシ
15 ニホンジカ	十万	○	○	LP	5	○	36	○	○	○		—	ニホンジカ
16 タイワンリス	千～万	×	○					×		○	特定外来生物	低	タイワンリス
17 シマリス	(捕獲禁止)	×	×	エゾシマリスのみDD				×	△	○	国内外来(北海道以外)	中(北海道)	シマリス
18 ヌートリア	千	△	○					△		○	特定外来生物	低	ヌートリア
19 ユキウサギ	百	×	○					×	○	○		中(北海道)	ユキウサギ
20 ノウサギ	万	△	○	サドノウサギのみNT	1			△	○	○		低	ノウサギ

※1 「分布状況」「被害状況」「個体数の動向」については、科学的・継続的な把握のために必要な情報量が十分あるかを整理(○:十分、△:ほぼ十分、×:不十分) 「被害状況」について、農林水産業や生態系等への被害が現状において明確に確認されていないものについては「—」とした。

※2 国RL…「NT」: 準絶滅危惧(生存基盤が脆弱な種)、「DD」: 情報不足(評価情報が不足している種)、「LP」: 絶滅のおそれのある地域個体群(地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの) 県RL掲載数…環境省第4次レッドリストのカテゴリーで絶滅危惧Ⅱ類以上に相当するものがあれば、その掲載数を記載